

「静岡県 CAD 製図基準による成果品作成方針」の改定概要

(静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課)

1 改定背景

県職員の使用 CAD ソフトウェアは令和5年1月より、次のソフトウェアとした。このことに伴い、扱える SFX CAD ファイル形式が増えたため本方針を改定する。

新規導入ソフトウェア
V-nas 2021 (川田テクノシステム株式会社)

2 改訂概要

(1) データ交換フォーマットの追加

本県では **SFX 形式※**のうち SFC を標準交換フォーマットとしている。新規 CAD ソフトウェアの導入に伴い、SFC 形式の圧縮形式の SFZ が取り扱えるようになったため、CAD データのデータ交換フォーマットに SFZ を追加する。

※SFX 形式：CAD データ交換標準コンソーシアム (SCADEC) が策定した、異なる CAD 間でデータをやりとりするために定めた標準ファイル形式。P21 形式 (ISO 規格に準拠) と SFC 形式があるが、P21 形式はファイルサイズが大きく取扱いが難しい。

<参考>SFZ 形式について

SFC 形式では CAD ファイル本体に画像ファイル情報を格納できないため、画像データは別ファイルとして出力される。

これに対し SFZ 形式では CAD ファイルと一体で画像データを格納でき、以下の様なメリットがある。

SFZ 形式のメリット

- ・ファイル容量を圧縮 (削減) できる
- ・ファイルが1つにまとめたためファイル数を削減できる。また、ファイルのコピーや移動の過程で画像ファイルが消失することを防止できる。

つきましては、SFZ 形式の積極的な活用をお願いします。

(2) 不要項目の削除

従来の CAD ソフトの機能に準じた項目、その他内容が重複している項目等を削除する。